



TITLE:

当所の活動

AUTHOR(S):

CITATION:

当所の活動. 木材研究 : 京都大學木材研究所報告 1966, 38: 72-72

ISSUE DATE:

1966-07

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/52997>

RIGHT:

当 所 の 活 動

(1966年3月～6月)

報 文

山田 正：わが国林業の将来への期待—木材物理研究室の窓から，山林，No. 282, 34 (1966)

(木材物理部門)

講 演

第11回公開講演会

(1966年5月27日 大阪・第一生命ビル好文クラブ集会室)

満久崇麿：構造部材としての合板

(木質材料部門)

角谷和男：木材の物性と赤外スペクトル

(木材物理部門)

高橋旨象：木材の腐朽—その機構と過程について

(木材生物部門)

その他の講演

金田 弘，佐々木光，満久崇麿：合板の力学的性質に関する基礎的研究—裏割れに関する一考察，第16回日本木材学会大会，4月2日，福岡 (1966)

南 正院，満久崇麿：フェノールホルマリン樹脂とクラフトリグニンとの反応性，同上

佐々木光，満久崇麿，石田芳久：中央集中荷重を受ける周辺固定木質円板のたわみ，同上

石原茂久，満久崇麿，堀 真一：アミノトリアジン系化合物による木質材料の防火処理 (1)，同上

(木質材料部門)

大迫靖雄，高橋 徹，山田 正：ヒノキ乾燥中の横引張クリープ，第16回日本木材学会大会，4月2日，福岡 (1966)

大迫靖雄，山田 正：鋼球圧入法による木材粘弾性挙動の推定，同上

金谷紀行，山田 正：木材の横引張弾性率と試片厚さとの関係について，同上

野村隆哉，角谷和男，山田 正：木材赤外スペクトルにおよぼす腐朽の影響 (Ⅱ) 主としてカワラタケによる腐朽について，同上

則元 京，山田 正：木材の握り粘弾性の含水率依存性，同上

角谷和男，金谷紀行，山田 正：木材の Rheo-optics I ヒノキクリープ過程の赤外吸収，同上

杉原彦一：帯鋸の走行安定についての一考察，同上，4月3日

野口昌己，杉原彦一，奥島俊介，野村憲治：振子式木材切削試験器による木材切削，同上

喜多山繁，田中千秋，杉原彦一：木材工場の騒音調査，同上

(木材物理部門)

北尾弘一郎，渡辺康光：リグニン熱分解生成物のガスクロマトグラフィー，第16回日本木材学会大会，4月2日，福岡 (1966)

佐藤 惺，北尾弘一郎：木材フェノール性化合物に関する研究 (Ⅲ) マツ属の化学的植物分類法についての考察，同上

前川英一，北尾弘一郎：竹のキシランの特異性—特に加水分解に対する挙動，同上，4月3日

佐藤 惺：Chemical Aspects of Pinus Group，第26回木材研究会，6月3日，大阪 (1966)

(木材化学部門)

林 昭三，西本孝一，貴島恒夫：針葉樹材の液体透過性に関する研究，第16回日本木材学会大会，4月2日，福岡 (1966)

林 昭三，西本孝一，貴島恒夫：浸漬法における木林への液体の浸透，同上

高橋旨象，西本孝一：木材の腐朽機構に関する研究 (第1報) 腐朽にともなうブナおよびスギ材の2，3の機械的強度の変化，同上

布施五郎，西本孝一：木材蝕害虫の防除薬剤に関する研究 (予報) 漁網蝕害および付着生物の防除薬剤について，同上

菊本広一，西本孝一：木材防腐剤としての有機錫化合物に関する研究 (第13報) 防腐効力と各種新化合物の殺菌性について，同上

西本孝一，菊本広一：木材防腐剤としての有機錫化合物に関する研究 (第14報) 室内予備防菌防虫効力試験，同上

西本孝一：シロアリ防除に関する座談会，大阪日日新聞社主催，6月29日，大阪 (1966)

西本孝一：研究室訪問，NHKラジオ第一放送，6月30日午前7時15分 (1966)

(木材生物部門)

人事異動

増田 稔，4月1日助手 (木質材料部門) に新任
満久崇麿，5月15日所長に就任

その他

佐々木光，塗膜による木材のひずみおよび応力の解析に関する研究業績に対して第6回日本木材学会賞 (昭和40年度) 受賞，3月

(木質材料部門)

杉原彦一：文部省在外研究員としてドイツおよびスウェーデンに1カ年滞在し3月22日帰国

(木材物理部門)